

平成29年8月7日

8月7日 札幌発滝川行き普通列車の 3号車配電盤から発煙したトラブルの概要について

平成29年8月7日(月)7時13分頃、札幌7時00分発 滝川行き 普通列車で、厚別駅～森林公園駅間を走行中、お客様からの申告により、車掌が3号車(クモハ721-3015号)配電盤から発煙しているのを発見しました。車掌が当該列車をただちに停止させ点検したところ、配電盤内からの煙が客室に入り込んでいたため、お客様には列車から外へ降車していただきました。

なお、当該列車にご乗車のお客様については、列車が停止した付近の踏切に待機していただき、目的地まではタクシーでの代行輸送を行いました。

多くのお客様に、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

当該配電盤は、車両の空調などを制御する機器類を納めているもので、その中の冷房用の圧縮機(コンプレッサー)を動作させるためのスイッチ(接触器)、および配線等が焦損していました。なお、焦損の原因については今後調査を行います。

(参考：過去に配電盤から発煙した事象)

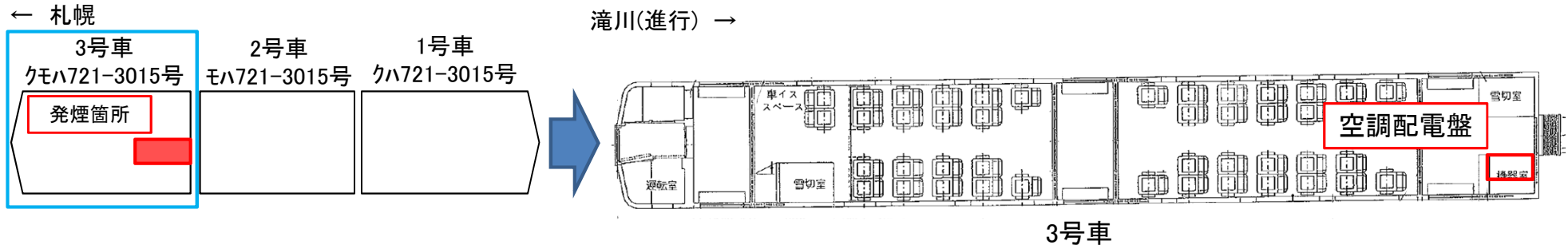
平成25年7月15日、西の里信号場構内において、特急スーパーおおぞら3号で空調装置用の配電盤から発煙する事象が発生しております。

お客様降車までの流れ

- 7時11分頃
- ・厚別駅を定時発車しました。
 - ・3号車車掌室の車掌が、2名のお客様から「3号車デッキで煙が出ている」旨の通報を受けました。
 - ・車掌が確認したところ、白い煙が配電盤扉の隙間から出てデッキ内にうっすらと漂っているのを認めました。
 - ・車掌は、直ちに車掌室に戻り非常ブレーキを扱うとともに、車内電話で運転士に状況を連絡しました。
 - ・車両が停止する前に、車掌が冷房停止操作を行いました。
- 7時13分頃
- ・西通り踏切手前に停止しました。
 - ・車掌が防護無線を扱い、指令に状況を報告しました。
 - ・運転士は、車外から最後部に向かい、車掌室から再乗車し配電盤に向かいました。
 - ・運転士も、3号車客室及び前側デッキに漂う白い煙を認めました。
 - ・運転士が配電盤扉を開けると、配電盤内部に煙が充満し、プラスチックが焦げた臭いがするのを認めました。（発炎及び赤熱は認めていません）
 - ・運転士はすぐに配電盤扉を閉め、運転士と車掌が協力し、3号車のお客様を前方車両に誘導しました。
 - ・車掌と運転士で打ち合わせ、お客様を降車することを決定しました。
 - ・運転士は運転室で、架線からの電源を遮断する操作を実施しました。
 - ・車掌、運転士及び同乗の社員5名により、1, 2号車進行方向左側の乗降ドア2箇所避難はしごを設置しました。
- 7時18分頃
- ・お客様の降車を開始しました。
- 7時33分頃
- ・すべてのお客様が降車完了しました。
 - ・運転士、車掌、協力社員で、西通り踏切周辺に降車したお客様の案内を行い、タクシー代行を実施しました。

※消防による現地調査の結果、消火活動は行われていません。

空調配電盤焦損状態

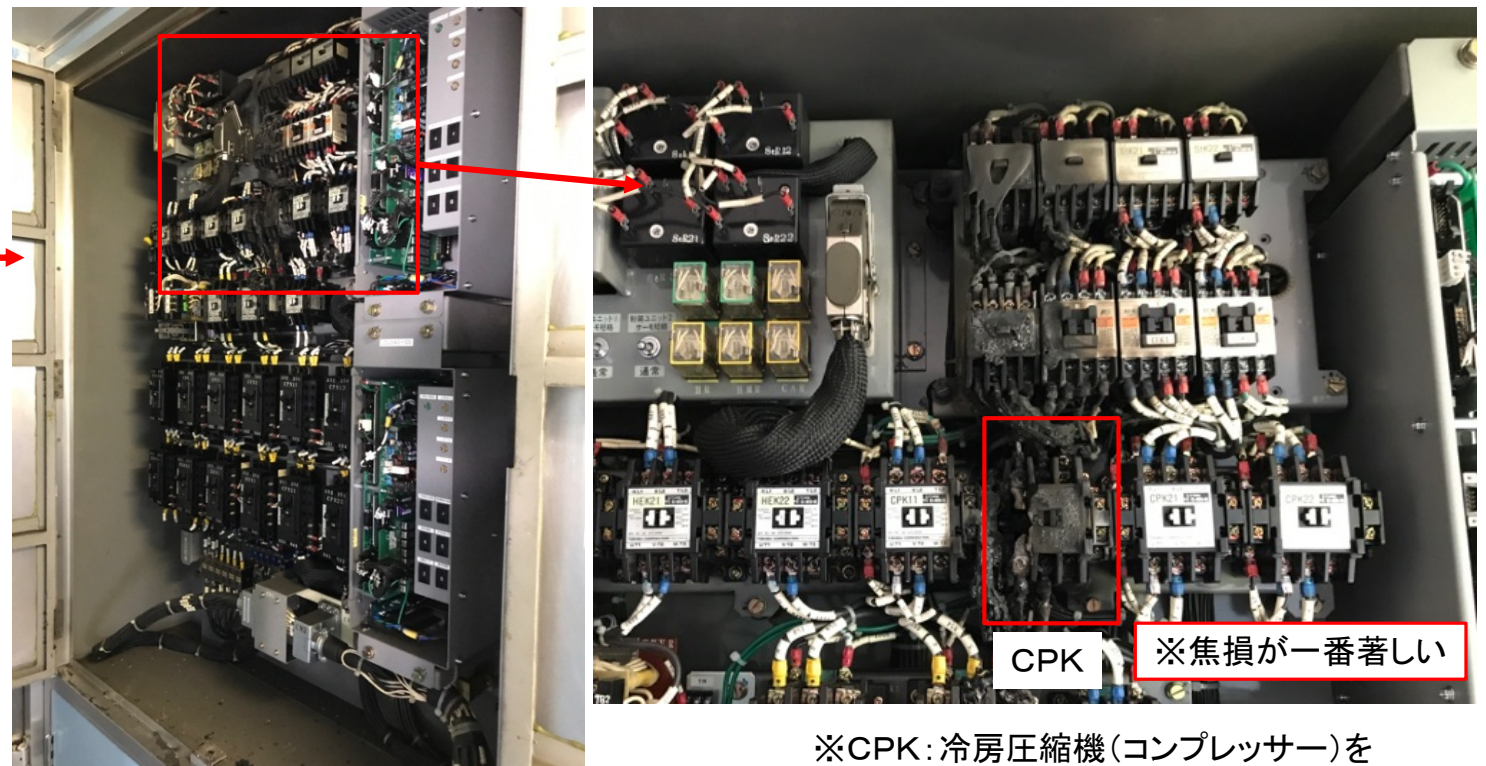


・検修歴	新製	1989年5月31日	4,434,977.2km
	全般検査	2013年8月13日	509,034.0km
	要部検査	2017年8月4日	339.6km

《空調配電盤外観》



《焦損部位》



※CPK: 冷房圧縮機(コンプレッサー)を動作させるためのスイッチ(接触器)